

レーダー波浪観測装置

Wave Monitoring Radar System

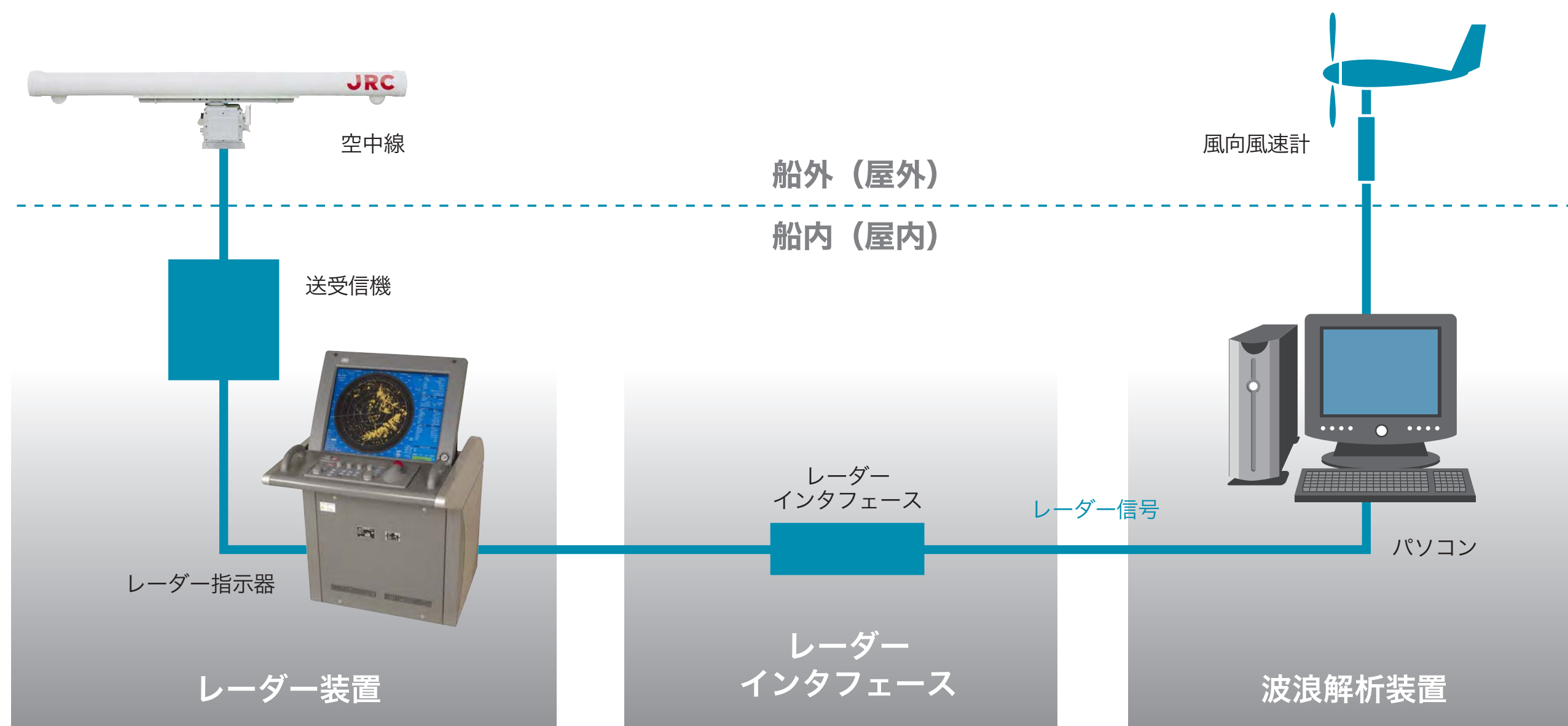
参考出品

レーダー波浪観測装置は、船舶用レーダーで観測した海面反射信号（シークラッタ）を解析し、波高や波長などの波浪情報をリアルタイムで算出・表示する装置です。

特長

- 量産型Xバンド船舶用レーダーをセンサー部に採用
- 本船の既設Xバンド・レーダーに、レーダーインタフェースを介して容易に接続可能
- 波浪情報として波高、波長、波速、波向をリアルタイムで出力表示
- 波浪情報は、画面上のトレンドグラフにより容易に時間変化を読み取り可能
- 解析結果は、ネットワークやシリアル回線を経由して外部機器に出力可能
- レーダー映像記録機能を用いれば海象の状況を録画して再解析が可能
- 船舶搭載型のほか、陸上設置型のレーダー波浪観測も可能

システム系統図



船舶用レーダー（9GHz帯）を使用。レーダー指示機はレーダーの制御およびレーダー映像の表示を行うと共に、レーダー信号（ビデオ、トリガ、方位信号）を送出。

レーダー装置からのレーダー信号を波浪解析装置に接続するためのもので、各種レーダーに適用。

レーダーからの信号を、内蔵のビデオ取り込みボードで波浪処理を行い、波浪情報として波向・波長・波速・波高を出力・記録・表示。